雨がふり
葉の上に
カタツムリ

加藤　つねみ
（湖西市）

きょうの天気　1日

	朝	昼	夜	☂	🌡
浜松	☂	🌂	☂	90	26 23
天竜	☂	🌂	☂	90	26 22
北遠	☂	🌂	☂	90	25 21
磐田	☂	🌂	☂	90	26 23
掛川	☂	🌂	☂	90	26 23
御前崎	☂	🌂	☂	80	25 23
静岡	☂	☂	☂	90	28 24
三島	☂	☂	☂	90	27 24

おでかけ天気

ディズニーランド	☂	☁☂	☁☂	70	26 22
横浜	☂	☁🌂	☂	80	26 23
中部空港	🌂☁	☁	☁★	50	28 23
高山	☁	☁🌂	☁🌂	60	26 19
伊勢	☁	☁☀	☁	40	29 22
ＵＳＪ	☁☀	☁☀	☁★	30	29 24

きょうの天気の☂は5ミリ以上、🌂は5ミリ未満

温室ガス削減

「県民生活の変革 必要」

知事強調 来年度、新目標策定へ

県議会六月定例会は三十日、一般質問があった。川勝平太知事は二酸化炭素（CO_2）など温室効果ガスの削減に向け、二〇二一年度に策定する実行計画で三〇年ごろまでの新たな目標を設定すると説明。「県民のライフスタイルや産業構造の変革を伴う削減が必要であり、技術革新が不可欠」と強調した。（大杉はるか、牧野新）

杉山淳さん（ふじのくに県民クラブ、静岡市駿河区）の質問に答えた。

杉山さんは新型コロナウイルスの影響で低迷傾向にある投票率にも触れ、杉山浩一経営管理部長は「キャッチコピーを工夫するほか、ポスターの掲示場所を検証する」などの投票率向上策を示した。四月の衆院静岡4区補欠選挙で、投票率が34・1％と県執行選挙で過去最低となったことには「強い危機感がある」との認識を示した。

杉山淳さん

勝俣昇さん

田内浩之さん

佐地茂人さん

県議会 一般質問

勝俣昇さん（自民改革会議、御殿場市・小山町）は大規模災害時の都市計画の手順をあらかじめ整理した事前復興行動計画をただした。長縄知行交通基盤部長は「設計技術者を確保する仕組みや、災害の全体像を把握する衛星写真の入手について調整を進める」と説明した。

東富士演習場（御殿場市、裾野市、小山町）でニホンジカが繁殖し、農作物や樹木被害が出ている問題では、市川敏之くらし・環境部長が「三千頭を超えるニホンジカが生息しており、早急な削減が必要」と指摘。林野庁などと連携し捕獲を強化する方針を示した。

田内浩之さん（ふじのくに県民クラブ、湖西市）は、学習用タブレット端末の整備の進展を受け、児童生徒ごとの習熟度に合わせた教材で効率的に学びを進めるアダプティブ・ラーニング（適応学習）の活用について聞いた。

木苗直秀教育長は「効果や課題を県と市町で共有し、普及への検討を進める」と答弁。県立浜松工業高校（浜松市北区）など六校で、九～十二月に数学と情報実習で実証事業を行う予定だと明かした。

佐地茂人さん（自民改革会議・静岡市駿河区）は、マリンバイオテクノロジー（海洋生物工学）の産業応用を尋ねた。川勝知事は県が進めるＭａｏｉ（マオイ）プロジェクトを「企業での事業化が進み、成果が表れつつある」とし、慶応大と県水産技術研究所（焼津市）が県産の魚から網膜の病気の症状を抑える成分の抽出に成功した例を挙げた。

プロジェクトの拠点施設「Ｍａｏｉ－ＰＡＲＫ（マオイパーク）」を十一月ごろ、静岡市清水区に開設することを表明。独自技術を持つ研究機関と課題を抱える企業の橋渡しなどを進める。

きょうの一般質問 県議会

増田享大さん（自民改革会議、掛川市）①新型コロナウイルス感染症対策②駿河湾フェリーの利用促進③3次元点群データを活用した新たな取り組みの推進④浜松学園の今後の在り方

四本康久さん（ふじのくに県民クラブ、富士宮市）①富士山②青少年に対する薬物乱用防止対策③生活排水処理対策④養鶏振興⑤ヤングケアラーへの支援

中谷多加二さん（自民改革会議、浜松市天竜区）①ＩＣＴを活用した林業の効率化の推進②県産材の需要拡大③80年目を迎えた天竜浜名湖鉄道④県と浜松市との基本協定の更新⑤新型コロナウイルス感染症への対応

考える リニア着工

島田市長「課題残った」

トップ会談、ヤード整備巡り

リニア中央新幹線の南アルプストンネル工事を巡り、川勝平太知事とＪＲ東海の金子慎社長のトップ会談を受け、島田市の染谷絹代市長は三十日の定例会見で「流域市町の窮状や不安を全国に訴えるいい機会だったが、結果的に課題が残った」と語り、不満をにじませた。

トップ会談前にあった川勝知事と流域十市町の首長らによる会議では、ＪＲが六月中に着工同意を求めたヤード（作業基地）整備は「本体工事と一体であり、

識には触れなかった。

染谷市長は「交渉ではなく時事放談のようになっていた。知事のお話も一貫性がなかった」と残念がった。知事は会談後、報道陣に対し、流域市町と一致した認識を述べた。

ＪＲはトップ会談でのやりとりを踏まえ、ヤード整備の可否をあらためてただす文書を県に送付した。染谷市長は「流域市町は従来の考えから変わっておらず、私たちへの確認は不要。河川管理者としての知事の権限で回答すればいい」と語った。（大橋貴史）

浜松の交差点陥没 下水管破損原因か

現場地下に空洞

浜松市中区野口町の市道交差点で二十九日に起きた道路陥没で、市は三十日、現場の地下に埋設される下水道管と各家庭などの排水設備を結ぶ取付管の接続部分に破損が見つかったと明らかにした。地中の土砂が

見つかった取付管の接続部分の破損＝浜松市中区野口町で（浜松市提供）

穴から西へ一・八㍍、深さ

本管に入ったとみられる。

市は、交差点北側の市道五十㍍を通行止めにして二十九日夜から付近を掘削して原因を調べ、破損を確認。管を補修して土砂を埋め戻し、仮舗装して、三十日午前六時半に交通規制を解除した。

現場は静岡文化芸術大の近く。二十九日昼、乗用車の左前輪が穴に落ち、乗っていた二人が軽傷を負った。

サクラエビ群れ浮上せず不漁か

海水低温で

記録的な不漁が続くサクラエビ漁を巡り、漁協関係者や有識者らが意見交換する連絡会が三十日、静岡市清水区の由比港漁協であった。漁獲量が二五・九㌧に終わった今年の春漁を振り返り、サクラエビの群れが浮上しなかったことが原因として考えられることが報告された。

県水産・海洋技術研究所によると、明確な理由は明

た。漁船がサクラエビの群れを狙って網を引いた水深は、昨春は三〇～一〇〇㍍の範囲だったが、今年はほとんどが一〇〇㍍付近で、群れが上昇していないことを裏付けていた。

県桜えび漁業組合の実石正則組合長は「捕れるだろうという確信はあったが、逆の結果でショックを受けている」と春漁を振り返り、「夏の産卵や資源調査を通じて、秋漁の自主規制について考えていきたい」と話した。

連絡会の冒頭、実石組合

県職員賞

県は三十日、夏の
ス（期末・勤勉手当）
に支給した。県によ
般職員九千二百五
（平均四二・六歳）の
給額は前年同期比〇
増の八十四万五千円

有効求人倍

県内1・06

静岡労働局

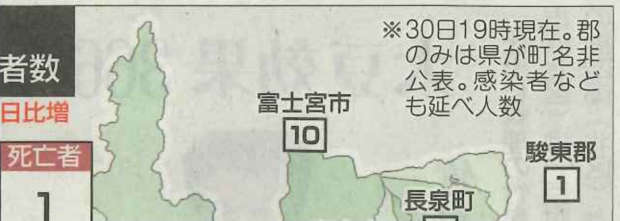
静岡労働局は、五
内の有効求人倍率（
整値）が前月比〇・
下がって一・〇六倍
と発表した。一・〇
落ち込んだのは五年
ぶりで、全国平均
倍）を一年二カ月連
回った。新型コロナ
スの影響で「県内の
勢は厳しさがみられ
している。

第2波備

246億円盛

コロナ県補正予

県は新型コロナウ
対策の第五弾とな
二百四十六億円の
〇年度六月補正予算
表した。第二波に備
ロナ病床の確保や
制を増強する。開会



※30日19時現在。郡のみは県が町名非公表。感染者なども延べ人数